



成果指標				
成果指標	防犯灯の設置数			
指標設定の考え方	防犯灯設置による犯罪発生抑止が期待されるため、設置数で受益の度合いを測定する。			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	2300%	2800%	3000%	3000%
実 績	3300%	3200%	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	電気代等維持管理費用の軽減や地球温暖化防止の観点から、引き続き防犯灯のLED化を推進する必要がある。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	4	
	効率性	手段の最適性	3	B
		コスト効率	4	
		受益者負担の適正	4	
課題認識	振り込め詐欺や盗難などの被害防止に向けた記事を市HPIに掲載して日ごろの防犯意識の醸成に努めている。また、市内で振り込め詐欺等の事案が発生し、又はその恐れのある時は、警察との連携の下、防災行政無線放送で注意喚起を行っている。今後は、防犯協会と連携して防犯相談所長の活動を活性化させるなどの取り組みも検討課題の一つと考える。防犯灯のLED化推進については、高額な初期費用に対応できる補助内容への変更の是非を検討する必要がある。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題